

「檜原村地球温暖化対策実行計画」

～平成26年度の状況～

村では、平成22年4月に策定した「檜原村地球温暖化対策実行計画」に基づき、温室効果ガスの排出抑制のため、さまざまな取組を行っています。

計画の基準年度は平成20年度、計画期間は平成22年度～平成26年度までの5年間、目標年度については平成26年度としております。

そこで、平成26年度の温室効果ガス排出量及び評価結果について、まとめましたので報告いたします。

実行計画概要

基準年度：平成20年度

計画期間：平成22年度～平成26年度

目標年度：平成26年度

対象とする温室効果ガス：二酸化炭素

削減目標：排出量13%削減

燃料等使用状況

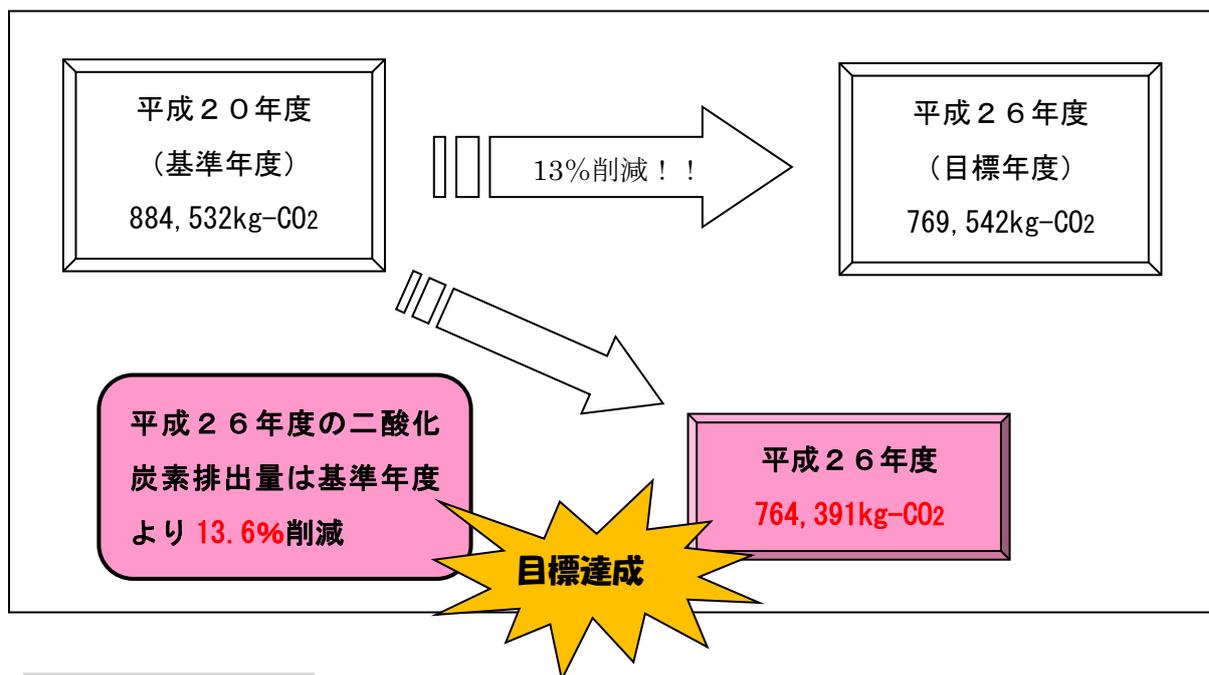
村の事務事業における燃料等使用状況は次のとおりです。

項 目	単 位	平成20年度	平成26年度	増 減	
燃料使用量	ガソリン	ℓ	12,686	10,351	-18.4%
	灯油	ℓ	110,409	106,185	-3.8%
	軽油	ℓ	3,149	995	-68.4%
	液化ガス (LPG)	Kg	1,181	1,105	-6.4%
電気使用量	Kwh	1,359,784	1,124,539	-17.3%	

二酸化炭素排出量

燃料等使用状況における二酸化炭素総排出量は、基準年度である平成20年度は884,532kg-CO₂、平成26年度は763,137kg-CO₂で3.8%削減している。

区 分	平成20年度	平成26年度	増 減
二酸化炭素 (CO ₂)	884,532kg-CO ₂	764,391kg-CO ₂	△13.6%



平成26年度の結果

基準年度と比較して、**13.6%の削減**となり、**目標達成**を果たすことができました。

二酸化炭素排出量を要因別に見ると、約61%が電気の使用、約39%が燃料（主に灯油）の使用に伴うものです。

平成22年度からは計画年度となっています。すでに二酸化炭素排出量を削減するさまざまな取り組みを行っておりますが、今後も削減目標に向け全職員一丸となって取り組んでいきます。

※今後の具体的な取り組み

- ◆ 昼休みの消灯や時間外の不必要箇所の消灯を行う等、電気使用量の削減に努める。
- ◆ 施設の冷暖房は、利用状況に応じた管理を行いクールビズ、ウォームビズを推進する。
- ◆ 急発進、急加速をしない等エコドライブに心がける。
- ◆ 電気自動車やハイブリッド車の積極的な利用、またできる限り公共交通機関を利用する等、燃料使用量の削減に努める。